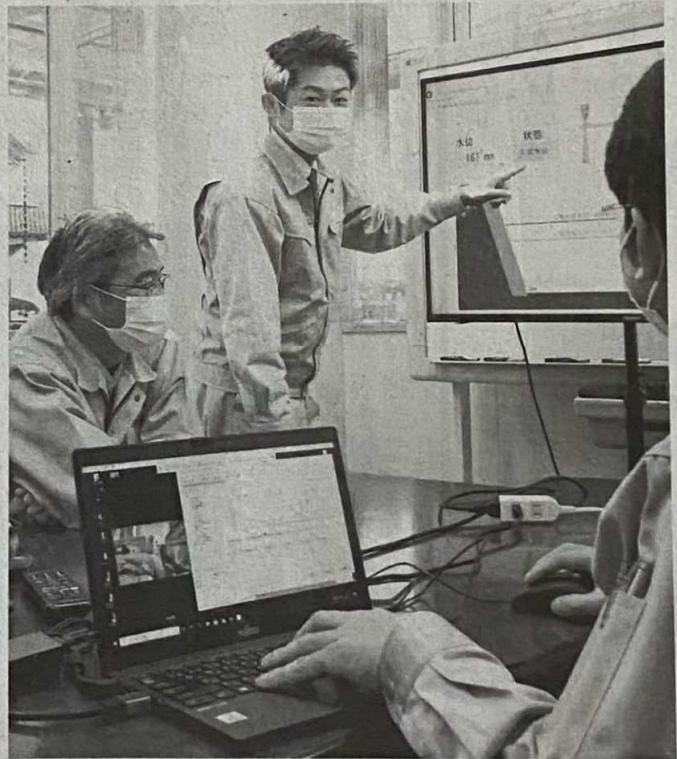


工場の粉じんや河川の水位を測る計器類を製作する「マツシマメジャテック」（北九州市）は、自社製品の維持管理を遠隔で行える態勢を整えた。従来は技術者の派遣が必要だったが、新型コロナウイルスで人の出入りを敬遠する顧客の要望を受けて手法を転換。予約待ちの状況に手応えを感じている。

顧客の注文に応じたオリジナル製品ときめ細かなメンテナンスで、日本製鉄や九州電力といった国内大手企業を始め、海外の顧客の信頼も培ってきた。だが、コロナで環境が一変し、緊急時以外の訪問は難しくなった。計器に不具合が起きれば、モノづくりや安全確保に大きな影響が及ぶ。

なんとかサポートを続けようと、池田憲俊社長（41）らが着目したのが、海外の顧客向けに試験的に行っていたリモートシステムだ。無線機器などを顧客に送り、現場の計器類に接続してもらおう。データは自社で受信して確認し、現場に足を運ばずに

## 計器のリモート調整 好評



遠隔で水位計を調整するマツシマメジャテックの社員ら。中央は池田社長（北九州市八幡西区で）

### 福岡 ■ マツシマメジャテック

【会社概要】1946年創業。本社・工場は北九州市八幡西区。従業員約130人。2020年3月期の売上高は16億5000万円。

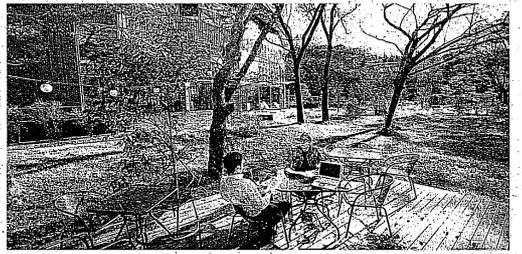
池田憲俊社長「固定観念にとらわれないことが、選択肢を増やすことにつながる。自由な発想と工夫で、この苦境を乗り切ろう」

計器類を調整する。

コロナ禍で今年度の売上高は1〜2割減を見込むが、リモート化した維持管理の依頼は相次

ぎ、新規顧客の割合も増えてきた。自社の労働環境の向上にもつながり、ツイッターによる商品紹介にも乗りだしている。

# コロナを逆手に 企業奮闘



コロナを逆手にして、新しいビジネスモデルを開発している企業がある。写真は、富山県内の企業の本社ビル。

## 仕事十数暇「脱都会」に商機

「コロナが激変した。リモートワークが当たり前になり、通勤の必要もなくなった。これによって、都会から地方へ移住する人が増え、地方に商機が生まれている」と、富山県内の企業関係者は話す。リモートワークの普及により、地方に拠点を移す企業が増え、地方の経済が活性化しているという。また、地方には自然環境が豊かで、生活コストも低いというメリットがあるという。

### 転換力

「転換力」をキーワードに、企業が変化に対応するための力を高めることが重要であると強調されている。

## 計器のリモート調整 好評



遠隔で水位計を調整するマツシマメジテックの社員ら。中央は池田社長（北九州市八幡西区）。

【社説】コロナ禍で、リモートワークが普及している。その中でも、リモートで計器を調整するサービスが人気を集めている。これは、リモートワークの利便性をさらに高めるための取り組みであり、企業の生産性を向上させることに貢献している。

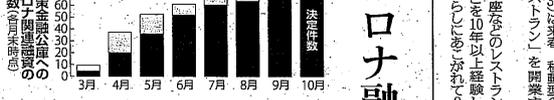
## レストラン参上します



「コロナ禍で、レストランの参上は難しい状況が続いているが、徐々に回復が見えつつある」と、富山県内のレストラン関係者は話す。リモートワークの普及により、レストランの業務効率化が進み、参上者が増えているという。

【会社概要】2015年設立。島根県出雲町の「里山イタリANA JIKURA」本店など3店舗を展開する。社員10人。

## コロナ融資 12兆円



【社説】新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中小企業への融資が急務となっている。政府は、融資枠を12兆円に拡大し、中小企業への支援を強化している。これは、中小企業の存続と雇用の確保に重要な役割を果たしている。

### この靴部分がマイク！

### 聞こえはよく 聴き取れる！

「プロが開発」の技術で、靴の裏面にマイクを埋め込み、周囲の音を拾い上げる。これにより、会話の内容を正確に聞き取ることができる。プライバシーの保護にも役立つ。

【特徴】  
① 薄くて軽い  
② 防水・防塵  
③ 充電式

【価格】29,800円（税別）

お問い合わせ：0120-570-220 / 0120-661-510